

京都市における PRTR 法に基づく届出（平成 22 年度データ）の集計結果について

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」（以下、「PRTR 法」という。）では、業種や従業員数等の一定要件を満たす事業者は、毎年、前年度に各事業所で取り扱った化学物質について、大気や河川等の環境中へ排出する量及び廃棄物等として事業所外へ移動する量を把握し、届け出を義務付けています。

このたび、平成 23 年度に京都市内の事業所から届出があった「平成 22 年度の化学物質の排出量等」の集計結果を下記のとおり取りまとめましたので、お知らせします。

記

1 PRTR 法の目的

国及び自治体が、人の健康や動植物に有害な影響を及ぼすおそれのある化学物質の環境への排出量を把握し公表することにより、事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進し、化学物質による環境汚染を未然に防止することを目的としています。

2 事業所からの届出情報

（1）行政区・業種別届出件数

京都市内の 205 事業所から届出がありました。届出内容の内訳は、表 - 1（次ページ）に示すとおりです。行政区別では、南区の 52 件が最も多く、次いで、伏見区の 42 件、右京区の 28 件の順となっています。業種別では、燃料小売業（ガソリンスタンド）の 101 件が最も多く、次いで製造業の 76 件の順となっています。

（2）届出された物質

PRTR 法の対象物質である 462 物質のうち、133 物質について届出があり、1 事業所あたりでは平均 6 物質となっています。

届出数が最も多かった物質は、トルエンの 133 件で、次いでキシレンの 128 件、エチルベンゼンの 106 件の順となっており、主に塗料等の溶剤やガソリン中に含まれています。

表 - 1 行政区・業種別の届出件数

行政区 業種名	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	西京	伏見	合計
製造業	2	1	0	5	2	6	2	32	15	0	11	76
食料品製造業	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
繊維工業	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	5
家具・装飾品製造業	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
出版・印刷・関連産業	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	1	6
化学工業	1	0	0	1	1	1	0	9	2	0	4	19
医薬品製造業	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
プラスチック製品製造業	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	4
窯業・土石製品製造業	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
非鉄金属製造業	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
金属製品製造業	0	1	0	0	0	0	0	8	2	0	2	13
一般機械器具製造業	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	3
電気機械器具製造業	0	0	0	0	0	1	0	4	4	0	0	9
輸送用機械器具製造業	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	3
精密機械器具製造業	0	0	0	1	1	0	1	2	0	0	0	5
医療用機械器具・医療用品製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
下水道業	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	2	5
石油卸売業	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	3
燃料小売業	4	6	7	4	0	14	15	14	11	3	23	101
洗濯業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
自動車整備業	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
機械修理業	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
商品検査業	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
計量証明業	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
一般廃棄物処理業	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	2	5
産業廃棄物処分業	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
特別管理産業廃棄物処分業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
高等教育機関	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	4
自然科学研究所	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	3
合計	6	8	11	11	2	22	18	52	28	5	42	205

3 届出排出量及び移動量の集計結果

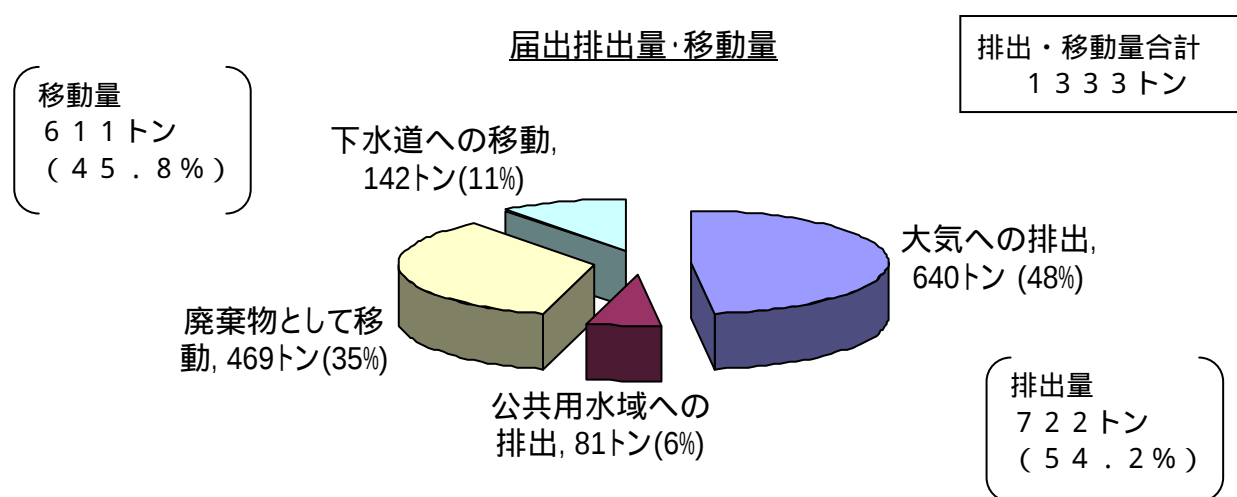
(1) 全事業所及び全物質の排出量・移動量

届出のあった排出量・移動量の合計は約1,333トンであり,そのうち大気や公共用水域への排出量は722トン(排出量・移動量合計の54.2%),廃棄物や下水道への移動量は611トン(同45.8%)となっています。

排出量の内訳は,大気への排出量が640トン(排出量の88.6%),公共用水域への排出が81トン(同11.2%)となっており,大部分が大気への排出となっています。

また,移動量の内訳は,廃棄物としての移動量が469トン(移動量の76.8%),下水道への移動量が142トン(同23.2%)となっており,大部分が廃棄物としての移動となっています。

図 - 1 届出排出量・移動量の内訳

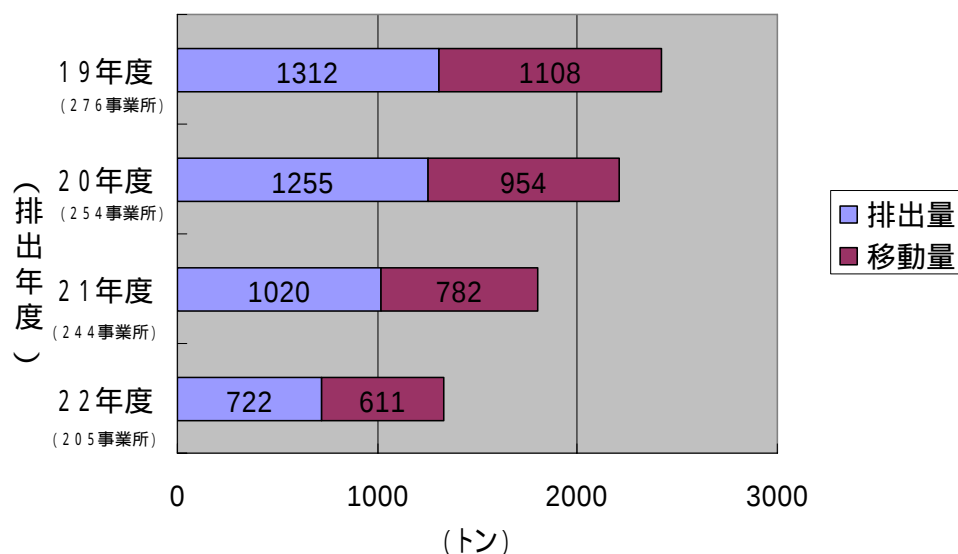


排出量・移動量の合計は,端数を四捨五入しているため合計量と合わない場合があります。

(2) 届出排出量・移動量の経年変化

前年度と比較すると,届出事業所数は39件減少し,大気や公共用水域への排出量は298トン,廃棄物や下水道への移動量は171トン減少しています。

図 - 2 届出排出量・移動量の経年変化



()内は届出事業所数を示す。

排出量・移動量の値は,端数を四捨五入しているため合計量と合わない場合があります。

(3) 大気への排出量が多かった物質

排出量のうち、大気への排出量が多かった上位 5 物質は、表 - 2 に示すとおり、トルエン、キシレン、塩化メチレン、テトラクロロエチレン、エチルベンゼンの順となっています。これらの物質の大気への排出量の合計は、575 トンであり、大気への排出量全体の 89.8 % を占めています。

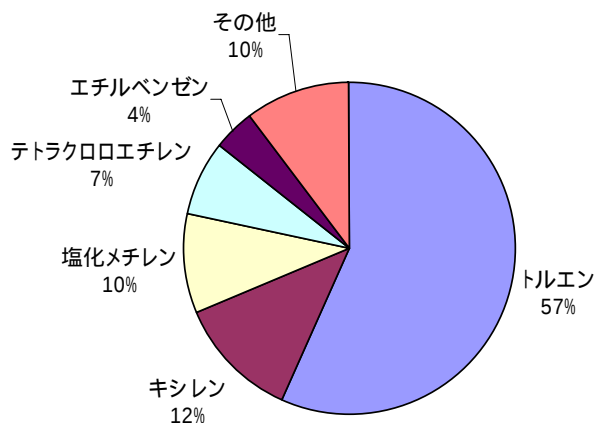


表 - 2 上位 5 物質の大気への排出量と各物質の用途

順位	物質名	排出量	用途
1	トルエン	363 トン	合成原料，ガソリン成分，溶剤
2	キシレン	76 トン	合成原料，ガソリン・灯油成分，溶剤
3	塩化メチレン	64 トン	洗浄剤，溶剤
4	テトラクロロエチレン	46 トン	ドライクリーニング溶剤，洗浄剤
5	エチルベンゼン	26 トン	合成原料，ガソリン成分，溶剤
上位 5 物質合計		575 トン	-
総計		640 トン	-

(4) 公共用水域への排出量が多かった物質

排出量のうち、公共用水域（河川）への排出量が多かった上位 5 物質は、表 - 3 に示すとおり、ふっ化水素及びその水溶性塩、ほう素化合物、亜鉛の水溶性化合物、マンガン及びその化合物、銅水溶性塩の順となっています。これらの物質の公共用水域への排出量の合計は、79 トンであり、公共用水域への排出量全体の 98 % を占めています。

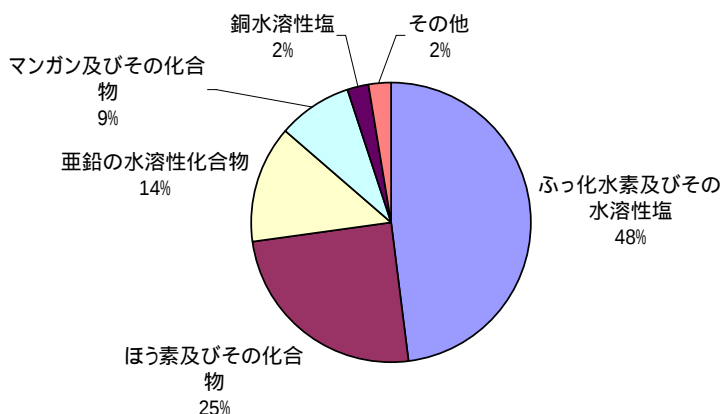


表 - 3 上位 5 物質の公共用水域への排出量と各物質の用途

順位	物質名	排出量	用途
1	ふっ化水素及びその水溶性塩	39 トン	半導体や金属の研磨
2	ほう素化合物	20 トン	電子工業，ガラス原料
3	亜鉛の水溶性化合物	11 トン	金属表面処理，乾電池
4	マンガン及びその化合物	7 トン	鑄造，電池
5	銅水溶性塩	2 トン	メッキ農薬原料，電池
上位 5 物質合計		79 トン	-
総計		81 トン	-

(5) 廃棄物として移動量が多かった物質

事業所外への移動量のうち、廃棄物としての移動量が多かった上位 5 物質は、表 - 4 に示すとおり、トルエン、N,N-ジメチルホルムアミド、キシレン、ノルマル - ヘキサン、塩化メチレンの順となっています。

これらの物質の廃棄物としての移動量の合計は、398トンであり、廃棄物としての移動量全体の65.1%を占めています。

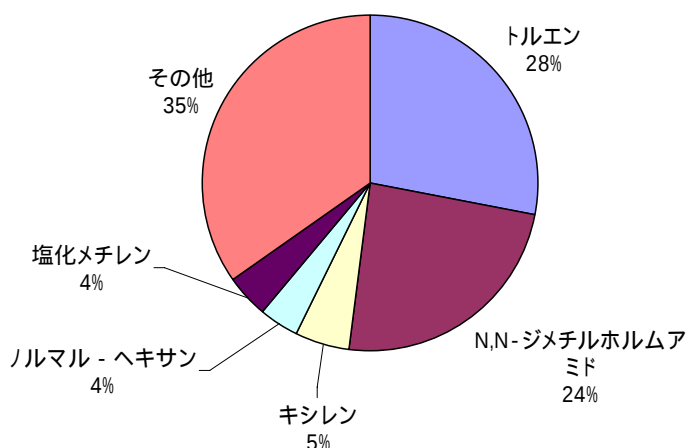


表 - 4 上位 5 物質の廃棄物としての移動量と各物質の用途

順位	物質名	移動量	用途
1	トルエン	172トン	合成原料，ガソリン成分，溶剤
2	N,N-ジメチルホルムアミド	146トン	溶剤，試薬
3	キシレン	32トン	合成原料，ガソリン・灯油成分，溶剤
4	ノルマル - ヘキサン	24トン	洗浄剤，溶剤
5	塩化メチレン	24トン	洗浄剤，溶剤
上位 5 物質合計		398トン	-
総計		611トン	-

(6) 下水道への移動量が多かった物質

事業所外への移動量のうち、下水道への移動量が多かった上位 5 物質は、表 - 5 に示すとおり、ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル、メタクリル酸、N,N-ジメチルホルムアミド、ホルムアルデヒド、ベンズアルデヒドの順となっています。

これらの物質の下水道への移動量の合計は、128トンであり、下水道への移動量全体の90.1%を占めています。

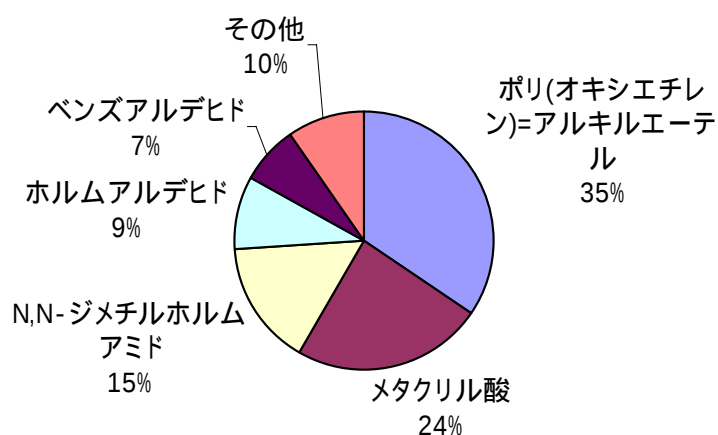


表 - 5 上位 5 物質の下水道への移動量と各物質の用途

順位	物質名	移動量	用途
1	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル	49トン	界面活性剤，乳化・分散剤
2	メタクリル酸	34トン	重合原料，加工剤
3	N,N-ジメチルホルムアミド	22トン	溶剤，試薬
4	ホルムアルデヒド	13トン	重合・合成原料
5	ベンズアルデヒド	10トン	染料，香料，医薬品
上位 5 物質合計		128トン	-
総計		142トン	-

(7) 行政区・業種別排出量

排出量の内訳は、表 - 6 (次ページ) に示すとおりです。行政区別では伏見区の 3 0 4 トンが最も多く、次いで南区の 2 8 4 トン、右京区の 7 9 トンの順となっています。業種別ではプラスチック製造業の 2 1 0 トンが最も多く、次いで繊維工業の 9 7 トン、出版・印刷・同関連産業の 9 5 トンの順となっています。

図 - 3 行政区別の排出状況

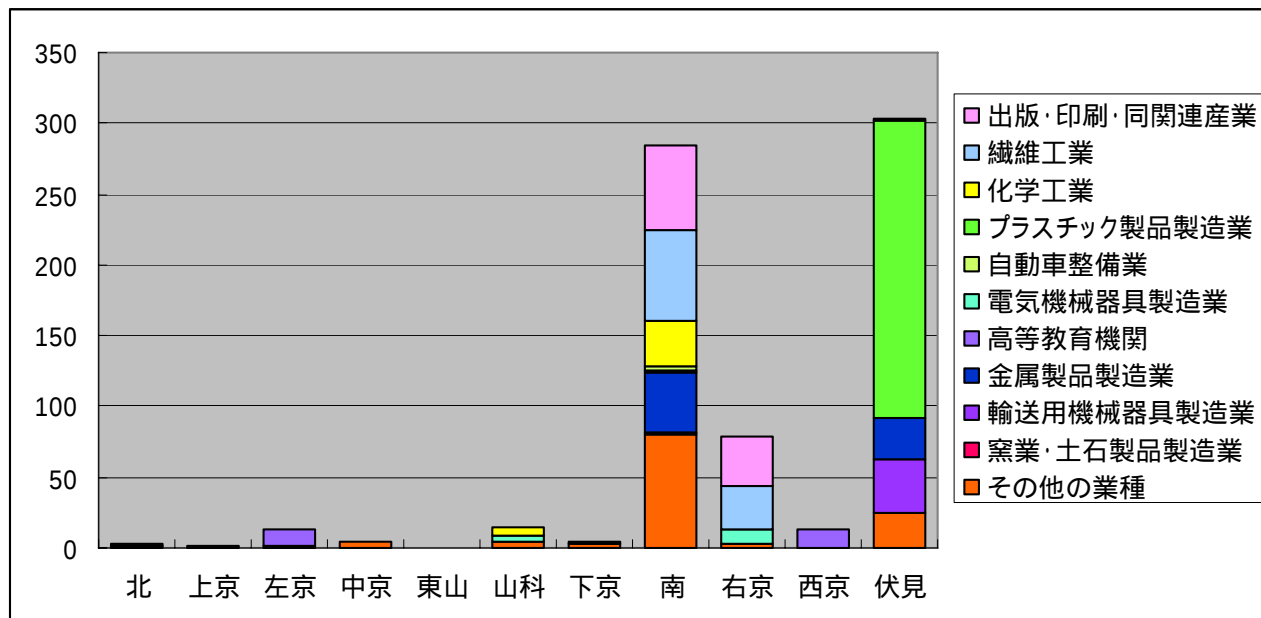


表 - 6 行政区・業種別の排出量

単位：kg / 年

	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	西京	伏見	合計	割合
製造業	2126	0	0	3246	248	10760	2400	207201	76822	0	280415	583218	80.8%
食料品製造業												0	0.0%
繊維工業	2100						1000	64100	30000			97200	13.5%
家具・装飾品製造業								2700				2700	0.4%
出版・印刷・同関連産業								59000	35930			94930	13.2%
化学工業	26			46	248	4910		32526	26		2015	39797	5.5%
医薬品製造業						300						300	0.0%
プラスチック製品製造業									256		210000	210256	29.1%
窯業・土石製品製造業								2619				2619	0.4%
非鉄金属製造業						50		39				89	0.0%
金属製品製造業								41400	233		28900	70533	9.8%
一般機械器具製造業				1500				890				2390	0.3%
電気機械器具製造業						5500		1927	10330			17757	2.5%
輸送用機械器具製造業									47		38400	38447	5.3%
精密機械器具製造業				1700			1400	2000				5100	0.7%
医療用機械器具・医療用品製造業												0	0.0%
その他の製造業											1100	1100	0.2%
下水道業								64687			16444	81131	11.2%
石油卸売業											9	9	0.0%
燃料小売業	994	721	1630	736		3309	2120	2587	2365	662	5439	20563	2.9%
自動車整備業								3100				3100	0.4%
商品検査業				110								110	0.0%
計量証明業				211								211	0.0%
一般廃棄物処理業												0	0.0%
産業廃棄物処分業												0	0.0%
特別管理産業廃棄物処分業												0	0.0%
高等教育機関		190	11846							13090		25126	3.5%
機械修理業								6500				6500	0.9%
洗濯業											1400	1400	0.2%
自然科学研究所								133				133	0.0%
合計	3120	911	13476	4303	248	14069	4520	284208	79187	13752	303707	721501	100.0%
割合	0.4%	0.1%	1.9%	0.6%	0.0%	1.9%	0.6%	39.4%	11.0%	1.9%	42.1%	100.0%	-

排出量の合計・割合は、端数を四捨五入しているため本集計表の縦・横方向に合計した値と異なる場合があります。

(8) 行政区・業種別移動量

業種別・行政区別の移動量の内訳は、表 - 7 (次ページ) に示すとおりです。行政区別では南区の 2 6 4 トンが最も多く、次いで伏見区の 1 6 5 トン、右京区の 8 7 トンとなっています。業種別では、繊維工業の 1 7 0 トンが最も多く、次いで化学工業の 1 3 4 トン、プラスチック製品製造業の 8 3 トンの順となっています。

図 - 4 行政区別の移動状況

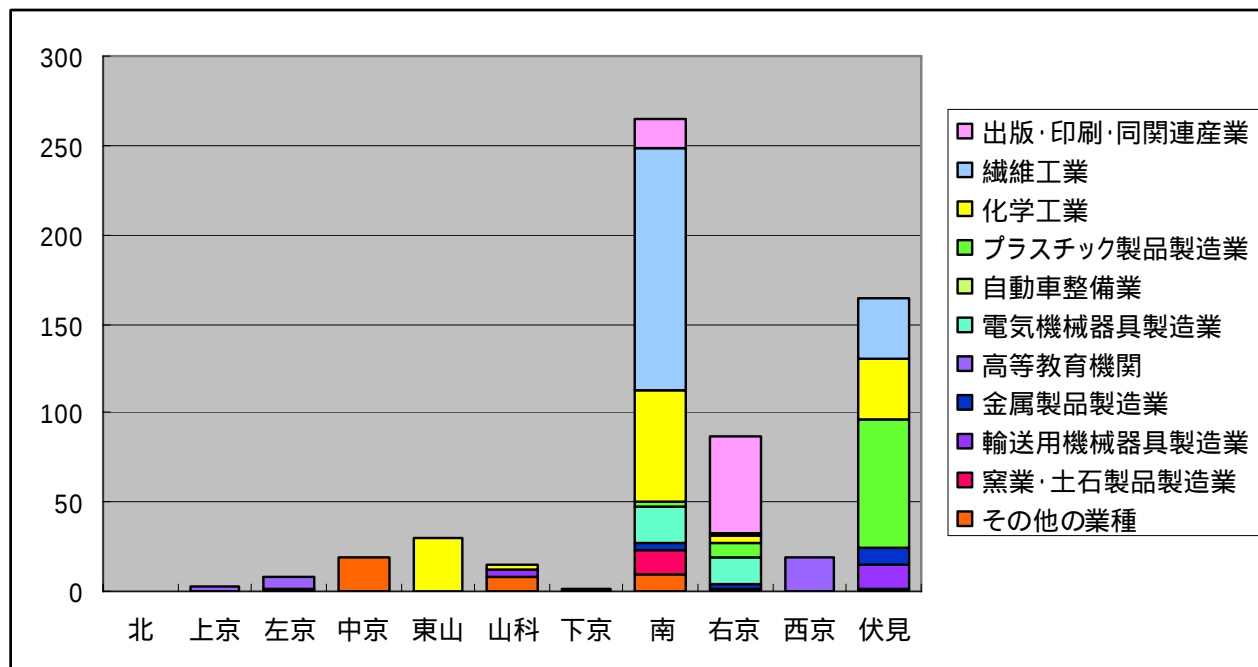


表 - 7 行政区・業種別の移動量

単位：kg / 年

	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	西京	伏見	合計	割合
製造業	126	552	0	6492	30540	14728	20	257276	87132	0	164644	561510	91.9%
食料品製造業												0	0.0%
繊維工業								135110	1300		34000	170410	27.9%
家具・装飾品製造業								97				97	0.0%
出版・印刷・同関連産業								16000	54916			70916	11.6%
化学工業	126			162	30260	2343		62063	4075		34874	133903	21.9%
医薬品製造業				2900		3100						6000	1.0%
プラスチック製品製造業								2700	8500		71700	82900	13.6%
窯業・土石製品製造業								13107				13107	2.1%
非鉄金属製造業						5185		1152				6337	1.0%
金属製品製造業		552						4375	3234		9350	17511	2.9%
一般機械器具製造業				1810				520				2330	0.4%
電気機械器具製造業								21144	13653			34797	5.7%
輸送用機械器具製造業						4100			1454		13000	18554	3.0%
精密機械器具製造業				1620	280		20	1008				2928	0.5%
医療用機械器具・医療用品製造業												0	0.0%
その他の製造業											1720	1720	0.3%
下水道業								810				810	0.1%
石油卸売業												0	0.0%
燃料小売業												0	0.0%
自動車整備業								63				63	0.0%
商品検査業				2900								2900	0.5%
計量証明業				9500								9500	1.6%
一般廃棄物処理業												0	0.0%
産業廃棄物処分業												0	0.0%
特別管理産業廃棄物処分業												0	0.0%
高等教育機関		2000	6806							18424		27230	4.5%
機械修理業												0	0.0%
洗濯業											260	260	0.0%
自然科学研究所			2000				1100	5900				9000	1.5%
合計	126	2552	8806	18892	30540	14728	1120	264049	87132	18424	164904	611273	100.0%
割合	0.0%	0.4%	1.4%	3.1%	5.0%	2.4%	0.2%	43.2%	14.3%	3.0%	27.0%	100.0%	-

排出量の合計・割合は、端数を四捨五入しているため本集計表の縦・横方向に合計した値と異なる場合があります。